

# フロントグリル 取付要領書

| 車名：デリカミニ | 年式：23.05- | 適合：ALL |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は「フロントグリル」の取り付けについて記載してあります。

商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店  
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



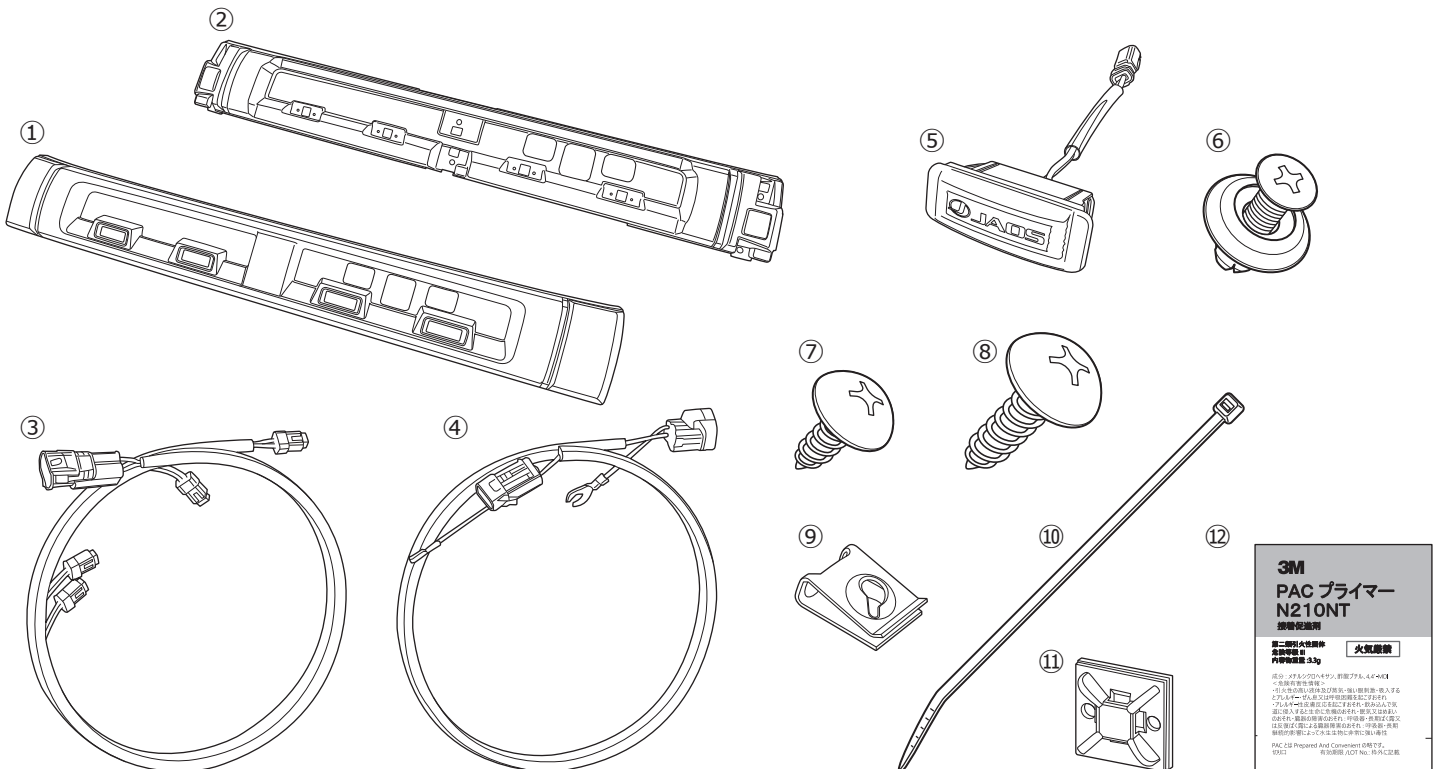
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：約3.5～4.0時間

## 構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



3M  
PAC プライマー  
N210NT

接着剤

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明

商品説明




## 取り付けに必要な工具

- 一般工具  トルクレンチ  電動ドリル  丸やすり  軍手  保護シート  保護テープ  養生テープ  
 マスキングテープ

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	フロントグリル	1	⑦	タッピングスクリュー-A (M3)	8
②	フロントグリル インナー	1	⑧	タッピングスクリュー-B (M5)	6
③	ランプハーネス	1	⑨	スピードナット	6
④	電源ハーネス	1	⑩	結束バンド	18
⑤	LEDランプ	4	⑪	マウントベース	6
⑥	クリップ	1	⑫	PACプライマー	1



# 取り扱い上のご注意

## この取付要領書で使用している表示の意味と内容


-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります



## 取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。



## 安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。



## 取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

## 使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

## 中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
- 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

## 保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内  
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで  
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 [www.jaos.co.jp/support/policy](http://www.jaos.co.jp/support/policy) ▶



## 未塗装品の塗装について



**注意**

塗装をするまえに必ず取り付け確認を行ってください。  
 塗装後の返品・交換はお受けすることができません。  
 膜厚が厚い特殊な塗装は製品を変形させるおそれがあるためご注意ください。

1. 塗装面の清掃・脱脂を行い、汚れや油分を取り除きます。
2. サンディング処理後、プライマー塗装を行います。
3. 上塗り塗装後、十分に乾燥させます。

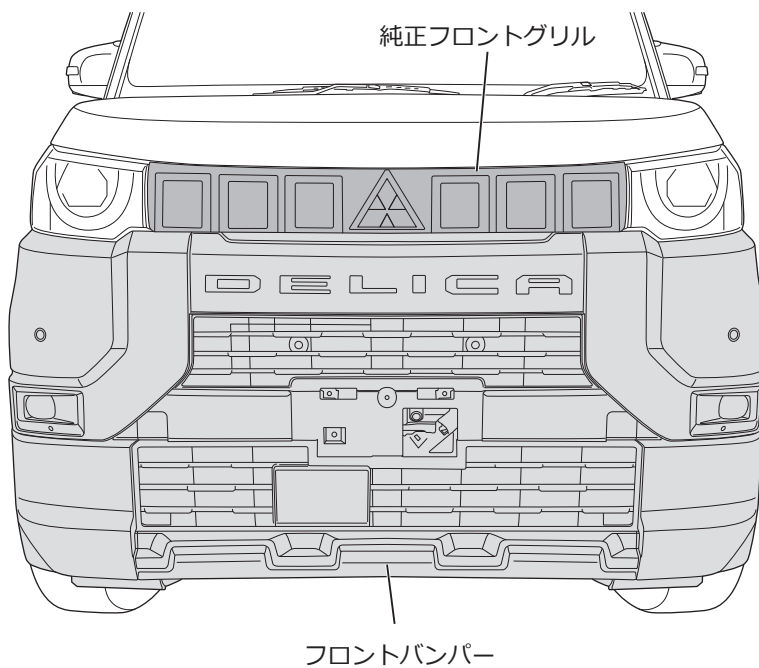
本製品を塗装する際は乾燥温度を70℃以下で行ってください。  
 乾燥温度を70℃以上に上げると製品に変形や割れが発生しますので十分注意してください。  
 強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

フロントグリル④を塗装してください。 ※塗装済みの商品は必要ありません

## 取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

### 1. 純正部品の取り外し

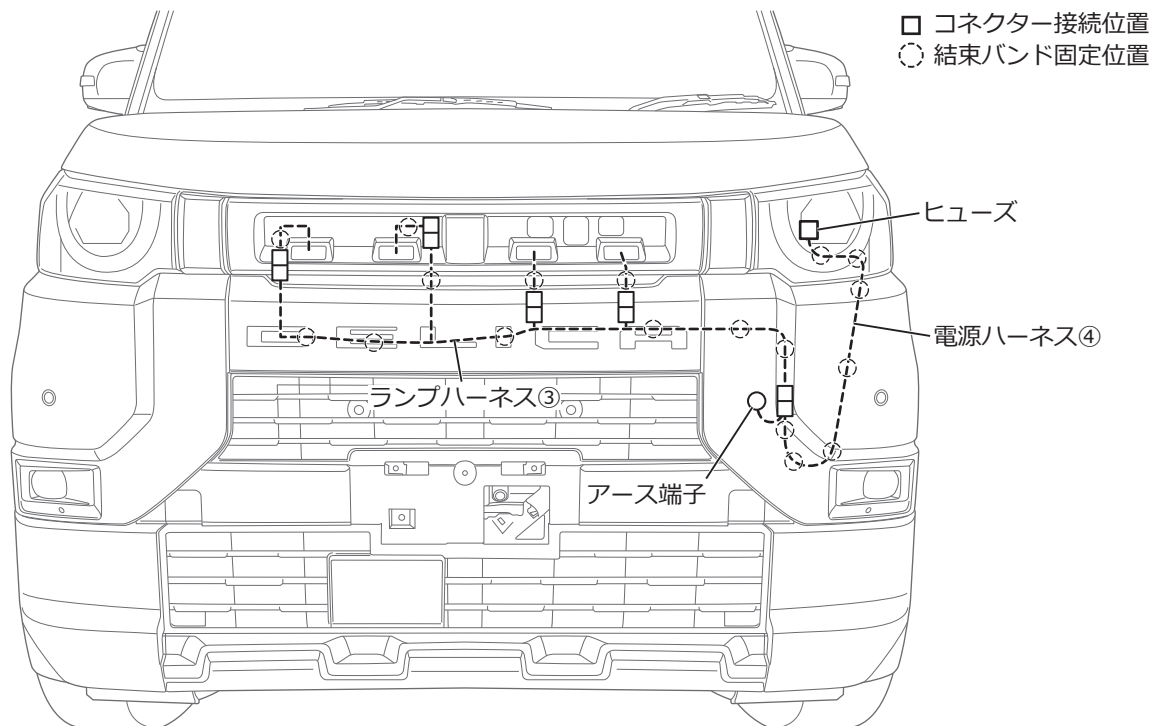


**アドバイス** | 取り外した純正部品はフロントグリルを除いて再使用するため大切に保管してください。

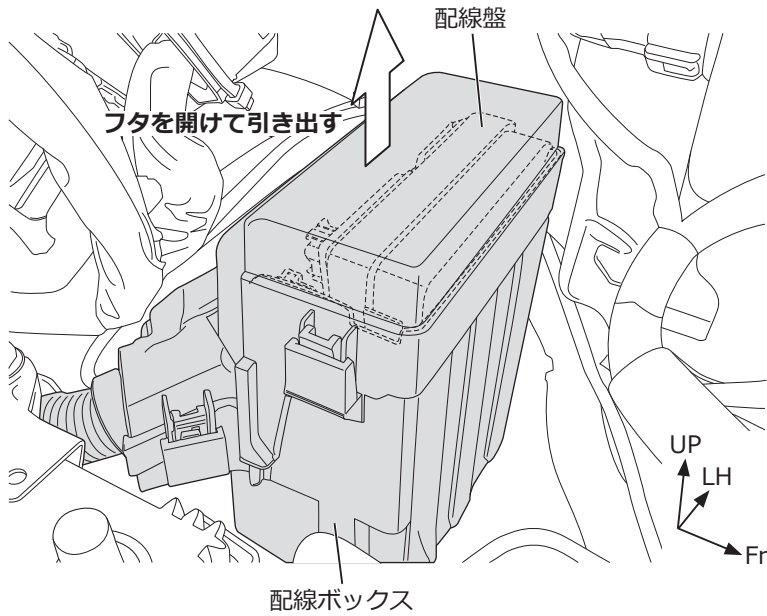
- バッテリーのマイナス端子を外します。
- 車両からフロントバンパーを取り外します。
- フロントバンパーから純正フロントグリルを取り外します。

**アドバイス** | 純正部品の取り外しは、車両の技術マニュアルに従い作業を行ってください。

### 2. 配線作業



## エンジンルーム上面：助手席側

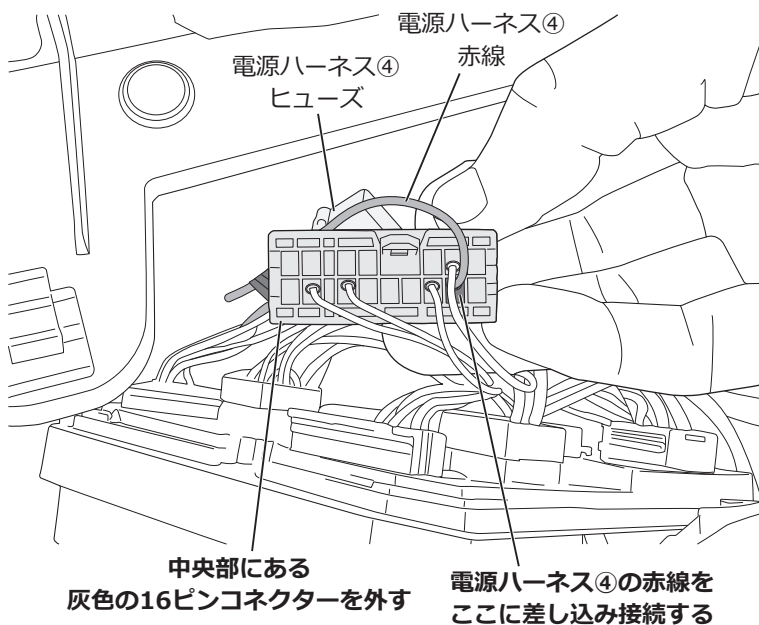
**注意**

商品の取り付けは必ず専門知識を有する自動車用品販売店または自動車整備工場で行ってください。車両部品をキズつけたり復元できなくなるおそれがあります。

**アドバイス**

作業に伴う純正部品の取り外しは、必ず車両の技術マニュアルに従ってください。

- エンジンルーム内の配線ボックスから配線盤を引き出します。

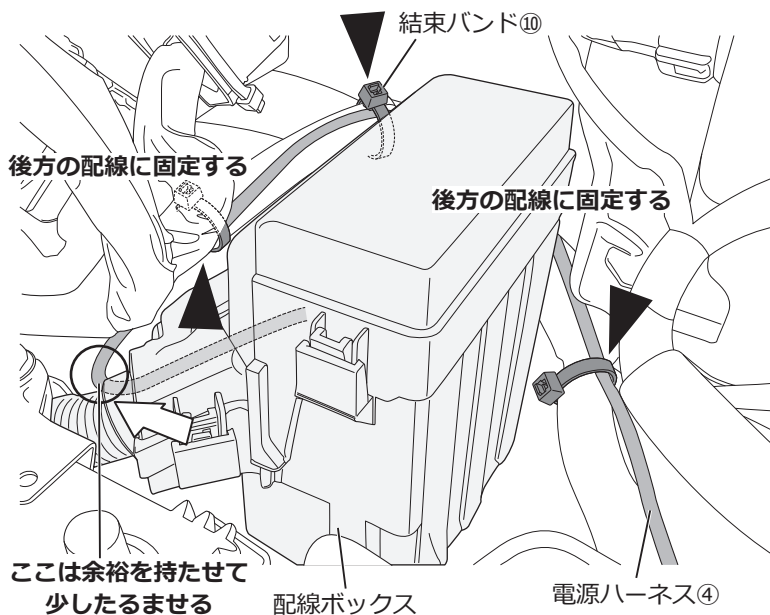


- 配線盤の中央部にある灰色の16ピンコネクタを取り外し、電源ハーネス④の赤線を図示の箇所に差し込み接続します。

**注意**

電源ハーネス④の赤線端子をコネクタに接続する際は差し込む向きに注意し、「カチッ」と音がするまで確実に接続してください。ハーネスやコネクタを強く引っ張ったり、ほかの配線をキズつけないように注意してください。

## ▼ 結束バンド⑩ (3箇所)



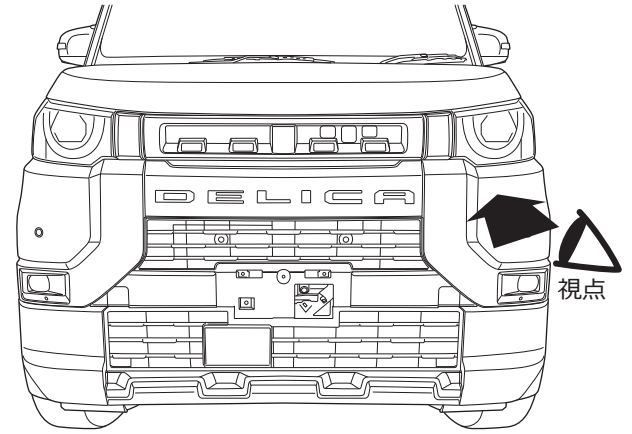
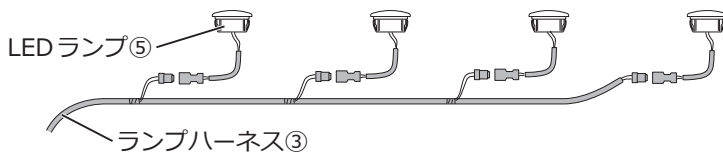
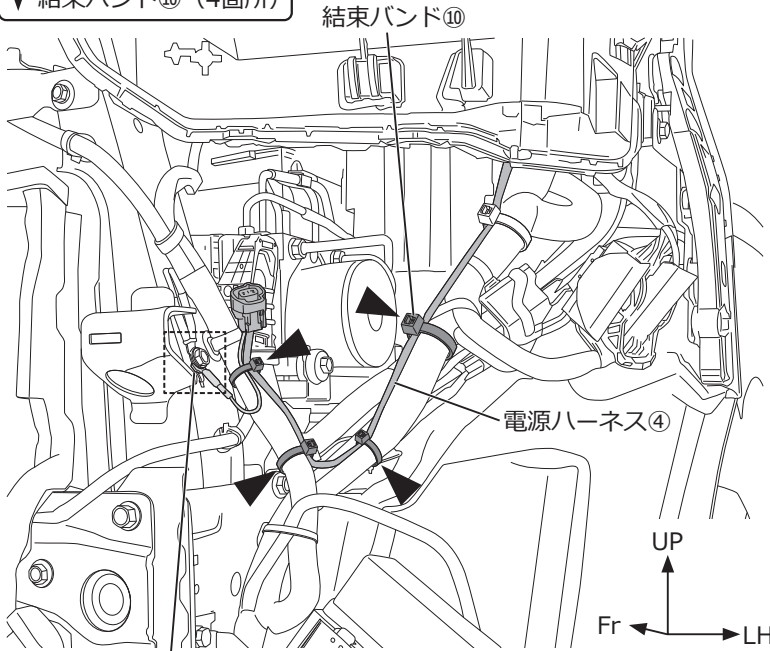
- 配線盤を配線ボックスに戻し、電源ハーネス④を図のように純正ハーネスに沿わせて車両前方に配線します。
- 結束バンド⑩を使用して、電源ハーネス④を純正ハーネスに固定します。

**アドバイス**

電源ハーネス④は、たるみが出ないように固定してください。

左側ヘッドライト下部

▼ 結束バンド⑩ (4箇所)



- 純正ハーネスに沿わせて電源ハーネス④を図のように配線します。
- 破線部 [---] に電源ハーネス④のアース端子を固定します。
- 結束バンド⑩を使用して、電源ハーネス④を純正ハーネスに固定します。

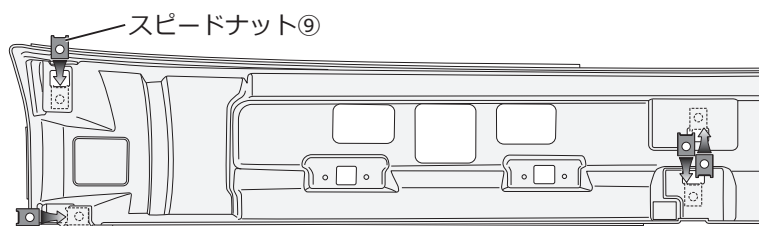
**アドバイス** | 電源ハーネス④は、たるみが出ないように固定してください。

- 電源ハーネス④とランプハーネス③を接続します。
- ランプハーネス③にLEDランプ⑤をすべて接続します。
- バッテリーのマイナス端子を接続し、イグニッションをオンにした際にLEDランプ⑤が正常に点灯すること、またオフにした際に消灯することを確認します。
- 確認後、バッテリーのマイナス端子、ランプハーネス③、LEDランプ⑤をすべて外します。

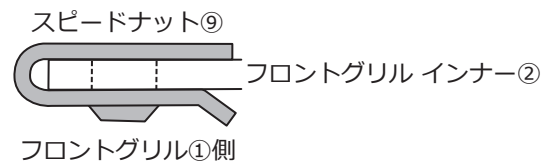
### 3. フロントグリルの組み立て

フロントグリル インナー② : ウラ側

左側図示 ※右側も同様

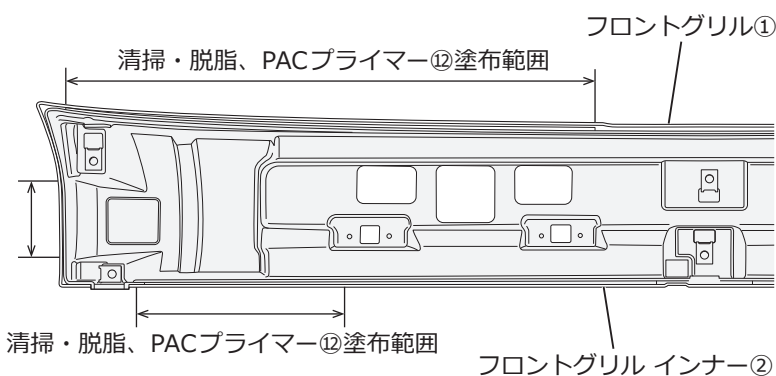


- 図を参照し、フロントグリル インナー②にスピードナット⑨を取り付けます (全6箇所)。



**注意** | スピードナットを取り付ける向きに注意してください。

フロントグリル①+フロントグリル インナー② : ウラ側

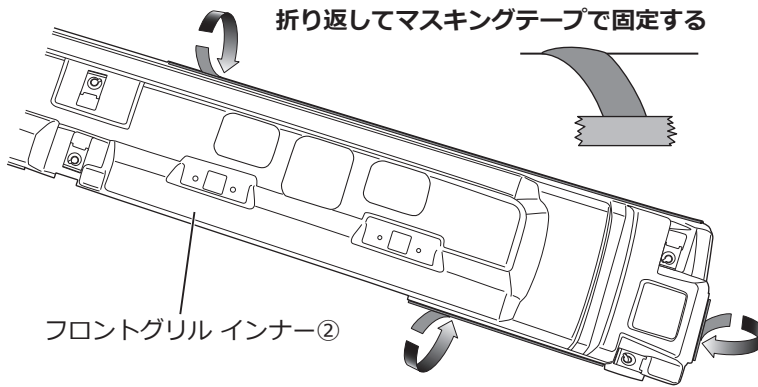


- フロントグリル インナー②をフロントグリル①に重ねて、両面テープの接着面を確かめます。
- フロントグリル インナー②を取り外してフロントグリル①ウラ側の両面テープ接着面を清掃・脱脂し、PACプライマー⑫を塗布します。

※ PACプライマー使用上の注意については、付属の説明書をご覧ください。

## フロントグリル インナー② : 表側

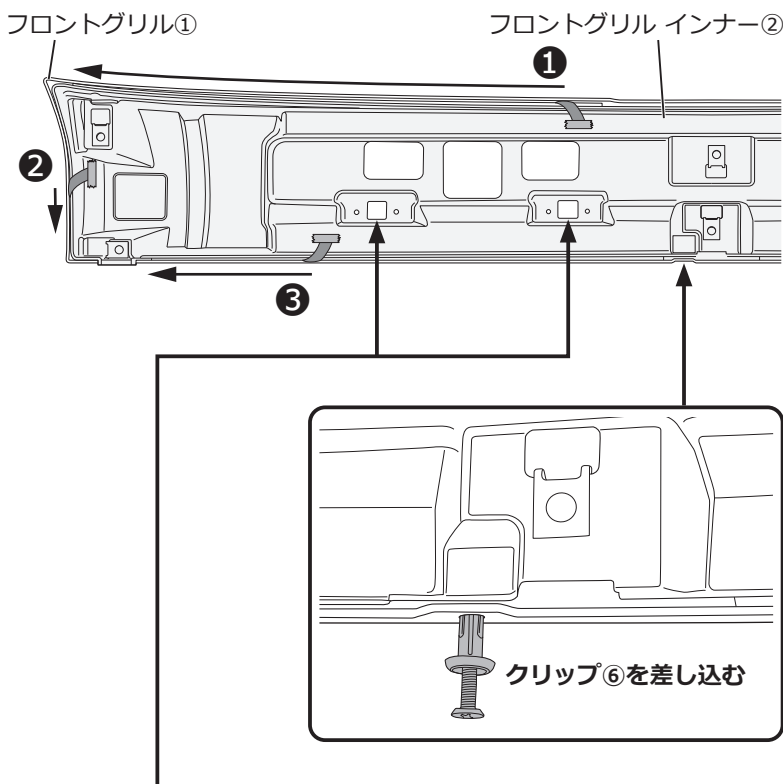
左側図示 ※右側も同様



□フロントグリル インナー②の両面テープ離型フィルムを矢印の方向に一部はがしてウラ側に折り返し、マスキングテープで貼り付け固定します。

## フロントグリル①+フロントグリル インナー② : ウラ側

左側図示 ※右側も同様



□再びフロントグリル インナー②をフロントグリル①に重ねて、フロントグリル中央下部にクリップ⑥を差し込みます。

□隙などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを図の順に引き抜き圧着します。

## アドバイス

作業環境の温度が20°C以下の場合、両面テープの接着力が著しく低下します。両面テープや接着面をドライヤーなどで温めてから作業を行ってください。

両面テープの接着面は表とウラの両側から手ではさむように圧着し、49 N (5 kgf) 以上の力で行ってください。

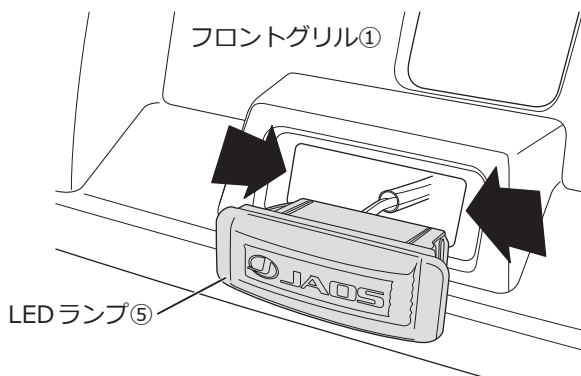
両面テープは接着力が安定するまで最低3時間程度必要です。取り付け完了後は車両の移動による強い振動や風圧に注意し、力を加えたり洗車や雨による水がかからないようにしてください。

□LEDランプ⑤をフロントグリル①の取り付け穴に押し込んで取り付けます。

□ウラ側の穴から配線を通して、タッピングスクリューA (M3) ⑦で固定します。

※LEDランプ⑤の取り付けは、4箇所同様に作業を行ってください。

## フロントグリルASSY : 表側

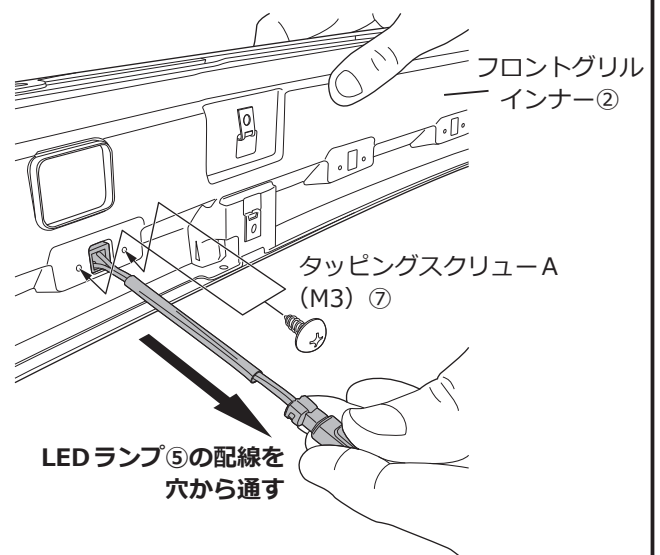


注意

LEDランプ⑤は右図のようにウラ側からタッピングスクリューA (M3) ⑦で固定するため、ツメを枠にかける必要はありませんが、ツメは割れやすいので慎重に取り付けてください。

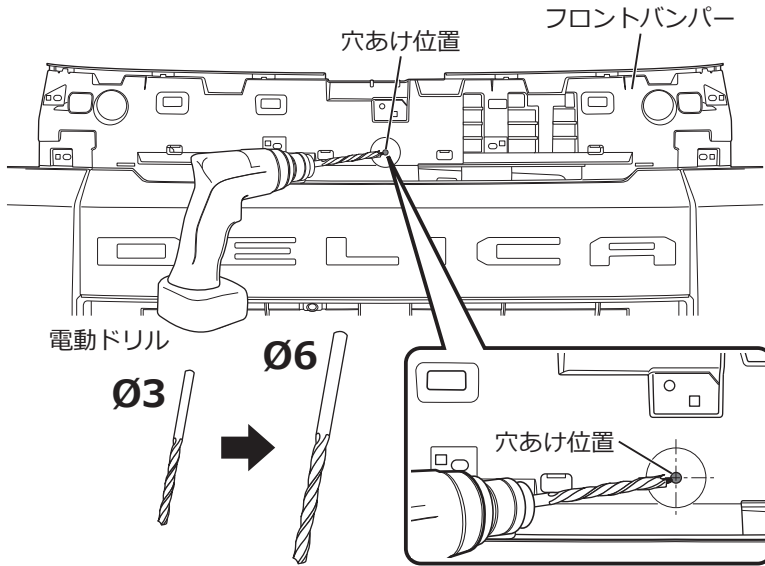
LEDランプ⑤はロゴの向きに注意して取り付けてください。

## フロントグリルASSY : ウラ側



## 4. フロントバンパーの穴あけ加工

フロントバンパー：表側



□フロントバンパー図の位置にØ3のドリルで下穴をあけ、Ø6のドリルで本穴をあけます。

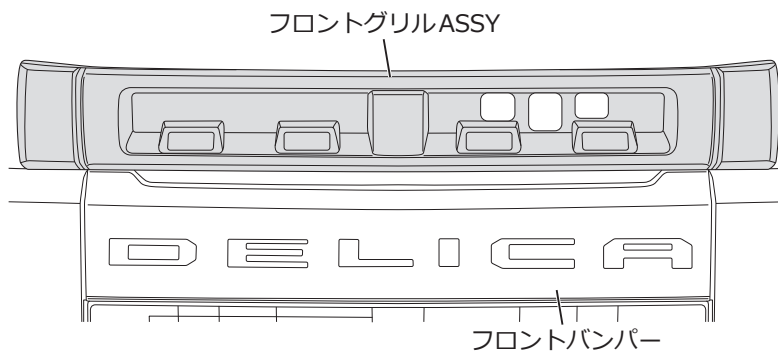


**注意**

穴あけ（カット）加工は、加工部以外をキズつけたりケガをしないよう十分に注意して作業を行ってください。

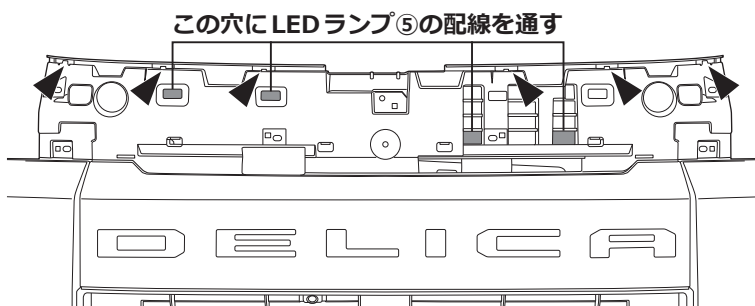
加工部のバリをやすりなどで取り除いてください。

## 5. フロントグリルの取り付け



□フロントバンパーにフロントグリルASSYを取り付けます。

▲ ツメをはめる（6箇所）

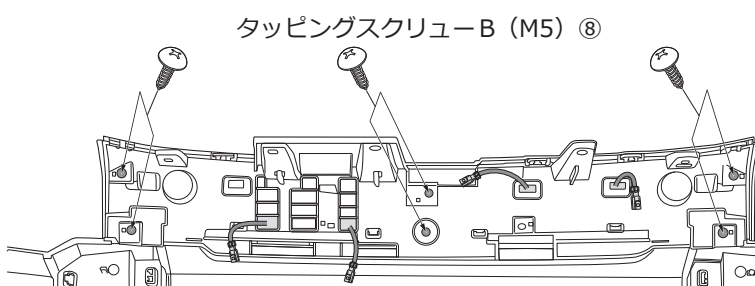


**アドバイス**

LEDランプ⑤の配線は左図の穴に通してください。間違えると正しく配線が接続できません。

▲ 部にツメをしっかりはめてください。

フロントバンパー：ウラ側



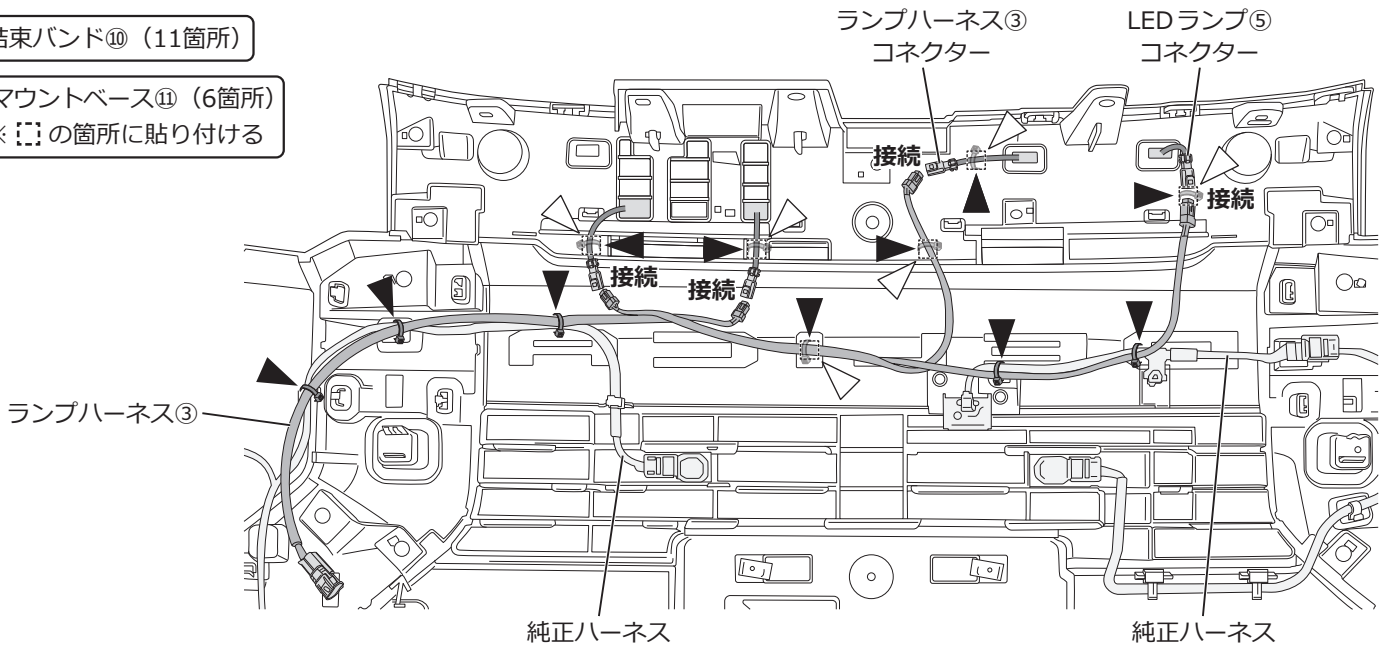
□スピードナット⑨を取り付けた穴（6箇所）にタッピングスクリュー-B (M5) ⑧を差し込み固定します。

## 6. フロントバンパー：ウラ側の配線作業

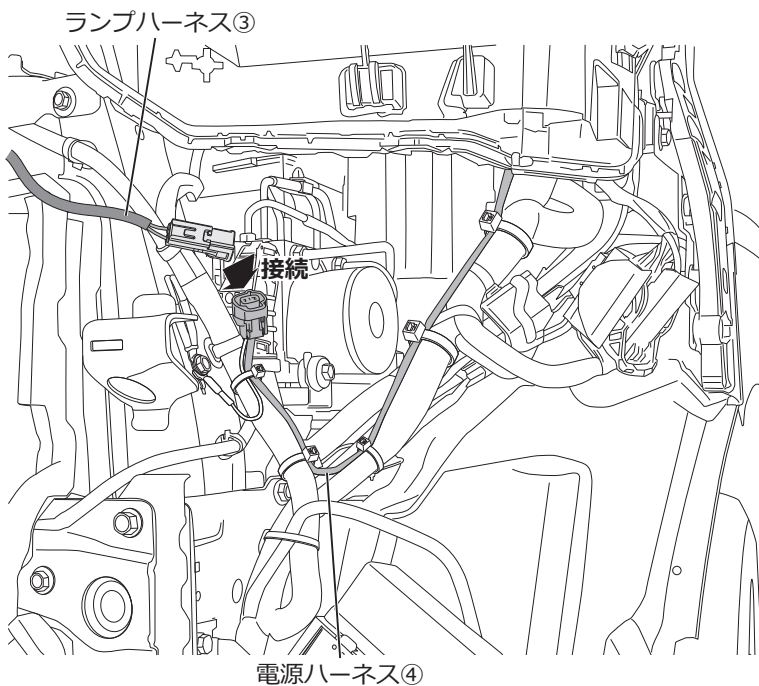
フロントバンパー：ウラ側

▼ 結束バンド⑩ (11箇所)

▽ マウントベース⑪ (6箇所)  
※ [ ] の箇所には貼り付ける



- 破線部 [ ] を清掃・脱脂し、マウントベース⑪を貼り付けます (6箇所)。
- ランプハーネス③を図のように純正ハーネスに沿わせて配線します。
- ランプハーネス③とLEDランプ⑤のコネクターを接続します。
- 結束バンド⑩を使用して、ランプハーネス③を純正ハーネスに固定します。



- フロントバンパーを車両に近づけ、ランプハーネス③と電源ハーネス④のコネクターを接続します。
- フロントバンパーをもとに戻し、外した各配線類を接続します。
- バッテリーのマイナス端子を接続し、イグニッションをオンにした際にLEDランプ⑤が正常に点灯すること、またオフにした際に消灯することを確認します。
- 取り外した車両部品をもとに戻します。

### 取り付け状態の確認



**注意**

本製品の取り付けに伴い分解・脱着した部位によっては、再設定や調整が必要となる場合があります。メーカーが発行する車両の修理書に従い、必要に応じて各部の点検・調整・再設定を行ってください。作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルト類の締め忘れや両面テープ部の圧着不足などにより本体が脱落するおそれがありたいへん危険です。